3

「平和と人権」市民ネットワーク情報 NO5

事務局発行(Ta 0557-45-1182) http://peaceito.moo.jp 2016.5/24

5月3日の憲法集会の報告

伊東市で初めて 5 月 3 日に憲法を祝う集いを開きました。場所は「ふれあい広場」。呼びかけたのは「市民ネットワーク」事務局の有志の面々でした。間際になって決めたため、十分な準備と宣伝ができませんでしたが、それでも、広場には 40 人の人が集まりました。中川洋三郎さんの音楽に続いて、三好が集会の趣旨を次のように述べました。

憲法に対する逆風がかつてなく強まっています。 その震源地は政治権力の頂点にいる安倍首相です。 憲法を尊重・擁護しなければならない人物が憲法 攻撃の最前線に立つという異常な事態が展開して います。この事態に黙っているわけには行きませ ん。権力が憲法を侮辱するなら、私たち主権者が 憲法擁護の声を上げなくてはなりません。今日、 ここで集会を開いたのはそのためです。

この後、9人の方がマイクで思いを語りました。 ここでは重岡秀子さんの言葉を紹介します。

6年生の子どもたちと歴史の勉強をしたとき、「それぞれの時代で政治の実権を握っていたのは・・?」と問いかけ、「現代は?」と聞くと子どもたちは首を傾げて「総理大臣かな・・?」「そうではない、今の憲法では主権は国民。国の政治を動かすのは私たち国民なんだよ。」そう言うと半信半疑で納得!

大人たちも自分たちが主権者だ。政治を動か すのは私たちという自覚はまだ薄いのではない か。しかし、今回の北海道 5 区の補欠選挙では 感動的な話がたくさんあった。その中のひとつ に、600人もの人たちがネットを介して全国 から電話かけをしていたという話がある。協力 者が申し出るとネットで電話番号を何人分か配 信して電話かけをしてもらう。その中心的な人 は終わったあと「選挙の結果は残念だったけど 参議院選挙でもやりたい。でもちょっと資金が 赤字です。カンパをしていただけませんか」と いう訴えをしていた。その目標額は当面10万 円!・・何とささやかな手作りの、そして創意的 な運動なんだろうと感動した。「国民主権」がこ の選挙で1歩、2歩、3歩と進んだのではない だろうか!

◆集会に参加した人には三島のママさんグループ「Tea+α」が発行した小冊子「日本国憲法 私の好きな 僕の好きな」を配りました。大変好評でした。司会をされた大川さんは残部を友達に配

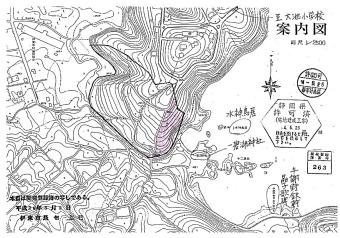
ると持ま冊っただっ帰たをくルだっぽんをくれったが、てり。送れー



ブのお一人に「市民ネット」の賛同者になっていただきました。こうして他の市民団体との提携が作れたことも、もう一つの憲法集会の成果でした。

--碧湖で大規模宅地開発 雑木林が伐採され景観が台無しに!!

佐藤房子



今、一碧湖神社の上段で約4万平米の雑木林を 伐採して宅地造成工事が行われようとしています (地図参照、黒い線で囲まれた範囲が開発区域)。

一碧湖は周囲の雑木林と一体となって、その美しい景観を保っていますが、この造成工事が行われると一碧湖神社の上段約200メートルにわたる雑木林がなくなり、そこに雑木に替わって分譲地の家並みが出現することになります。これではとても「伊豆の瞳」とは言えないでしょう。また、伊豆ジオパークの世界認定にも支障がでかねません。ここは、与謝野鉄幹・晶子の歌碑がある対岸の芝生広場から眺めると、十二連島の緑と朱の鳥居とが相まって一碧湖でもとりわけ美しい景観を誇

なんとかこの開発をやめさせることができないかと市役所に問い合わせたところ、すでに開発許可が下りているということでした。もともとこの開発は平成4年にマンション建設を目的に申請されたものが頓挫し、平成27年に今度は宅地分譲開発として申請されたということですが、両者の計画にズレがあるので、その調整が済むまで工事は中断させるということでした。

る一角です。また、自生するチョウジソウの貴重

な群生地でもあり、開発の影響が危惧されます。

開発を中止できないのであれば、せめて地図の 黒い線で囲まれた開発区域のうち赤で着色した直 接湖と隣接するエリアの雑木の伐採はしないよう 市は行政指導すべきでしょう。一碧湖は伊東市の 大切な観光資源であり、その保全にかなりの税金 を投入しているのですから。なおこの着色部分は 雑木がまばらなので、苗木ではなく十分生長した 山桜などを 100 本ほど植え、今後建てられる家並 みが対岸から見えないようにする配慮が必要です。

事業者の方もこの開発計画を再度考え直してはいかがでしょうか。少子高齢化による人口減少にともない全国の7軒に1軒は空き家というのが現状です。とりわけ伊豆高原の別荘分譲地は高齢者が多く、今後空き家が急増するのは確実です。4万平米に及ぶ開発で売れるのはいったい何軒でしょうか・・・。また、開発により一碧湖の赤牛の怒りを買わないともかぎりません。

一碧湖の景観を守りたいと思う方は、伊東市役所 (0557-36-0111) の都市計画課にぜひ電話をしてください。多くの市民が反対の声を上げれば、市も無視することはできないはずです。伊東市民である必要はありません。一碧湖は国立公園の中にあるので、全国どこからでも電話をお願いします。また、この呼びかけをぜひシェアして反対の輪を広げてください。





夏休み保養ステイにご協力を

●日 時 …2016年8月1日(月)~8月5日(金)

●保養施設 ···アートハウス ホライゾン (伊豆高原ペンション)

静岡県伊東市富戸 1131-82 TEL 0557-51-3434

URL http://www/hrzn.co.jp

●主 催 …子どもたちを放射能から守る伊豆の会 代表 安部川てつ子

●連 絡 先 …安部川てつ子 静岡県伊東市大室高原2-554

TEL&FAX 0557-51-1335 E-mail abekawa-h@cy.tnc.ne.jp

※詳しくは同封のチラシまたは添付ファイルをご覧ください。

伊東の青壮年が沖縄へ出発

5月12日夜、伊東の青壮年4名が沖縄へ出発しました。まずは名護市辺野古新基地建設の現場、東村高江の米軍へリ着陸場建設阻止の現場を訪れます。「私たちは伊東から市民のカンパで市民の代表としてやってきました」と高らかに叫び、事実を見て互いの交流を深めることでしょう。基地や戦跡も回ってくるということでした。その費用はどこから出たのか。それは、1月に行った沖縄映画会の収益や善意のカンパですべて賄うことができました。

派遣青壮年たちは、「帰ったらカンパを寄せてくれた人たちに報告する会を開きます」と語っていました。そこにはまた一回り多くの青壮年が集まることでしょう。 [5/15 無事帰還]



みんなで一歩・・・できることから始め ましょう

事務局には、とても美しい「憲法9条」の大判ポスターがあります。室内に貼っていただけば、訪れた方の目に入るでしょう。屋外に貼りだせば通る人にインパクトを与えます。もしご希望があれば事務局に連絡してください。さっそく郵送します。一人2枚宛で、郵送料(着払い)201円を負担していただきます。



(横 36.5 cm×縦 51.5 cm)

5月の19日行動は鳴り物入り

この日は「平和行進」と重なったため、伊豆高原は取りやめて、伊東市観光会館前一か所でスタンディング・アピールを行いました。午後2時の開始前から中川洋三郎さんのギターによる弾き語りが始まって、いつになく賑やかな雰囲気。次々に集まってくる人たちの多くは初顔の人。数えると21人!! 道路に向かって皆でプラカードを掲げました。

司会者の「憲法を取り戻すのは私たち主権者」の言葉を皮切りに、6人の人がマイクでスピーチ。 参議院選の野党共闘を視野に、「政治は変えられる、変えるのは私たちだ」と口々に訴えました。オバマ大統領の「ヒロシマ」訪問を肴に、政治家の言行不一致を追求するスピーチもありました。その間、前後二回のコール。重岡さんのコールは合わせやすかったけど、中川さんのコールに応えるのはちょっと難しかったな。

五月晴れの下、老若男女(若は欠けたが)が元気よ く声を上げアピール活動を行いました。

平和行進、静岡入り

5月19日午前9時に約30名の参加者が「藤の広場」に集合し、集会の後、核兵器廃絶などを訴えながら伊東駅までパレードを行いました。その後17名が湯河原まで移動し、県内の他の行進者と共に海沿いの公園で神奈川からの行進団の到着を待ち受けました。午後1時頃、神奈川から150名を超す行進団が元気よく到着、引き継ぎ集会が始まりました。この光景はなかなか感動的なものです。行進団は静岡県内を19日間にわたり行進し、8月6日に広島に到着します。

平和委員会 伊藤廣光



事務局からのお知らせ

(1)2000 万署名集約結果

戦争法の廃止を求める2000万人統一署名」は全国で1200万筆、 伊東では8666筆を数えています。さらに6月30日まで継続します。

これまでにご協力いただいた方々のおかげで、伊東で12000筆の目標に対して、約75%の集約が出来ています。そして第一弾として、全国1200万筆の署名が5月19日に国会に提出されました。参議院選挙が迫るなか、戦争法の危険性と廃止の重要性を訴える意義が大きいことから、署名運動は6月30日まで継続します。皆様の重ねてのご奮闘とご協力をお願いします。署名用紙が必要な方は事務局までご連絡ください。

(2)女性殺人事件に抗議する一琉球新報の社説ー

5月19日、沖縄県うるま市に住む島袋里奈さんが遺体で発見されました。32歳の軍属(元海兵隊員)が殺人容疑で逮捕されました。琉球新報は怒りを込めて事件を糾弾し、基地撤去を要求しています。別紙または添付ファイルをご覧になってください。